

博多総合車両所の一部が一時避難所に

JR西日本と災害時支援協力の覚書を締結



▲一時避難所として提供される車両所内の施設

5月30日、市と社は包括連携協定に基づき「災害時における施設利用等の支援協力に関する覚書」を締結しました。

この覚書により、大規模災害の発生時、博多総合車両所の一部が一時避難所として提供されます。

同社は「覚書の締結を機に、地域の安心・安全確保、地域力の強化、持続可能なまちづくりに一層取り組んでいく」と述べました。

犯罪被害者などへの支援

警察と筑紫地区5市で協定を締結



▲関係機関が連携して支援に取り組む

5月25日、筑紫地区5市、春日警察署および筑紫野警察署の間で、筑紫地区犯罪被害者等支援に関する協定を締結しました。

この協定は、筑紫地区5市で犯罪被害者等支援条例が施行されたことに伴い、連携を強化するものです。今後も、警察と筑紫地区が連携して犯罪被害者やその遺族などへ寄り添い、見舞金の支給などを通じて支援を行っていきます。

生徒が収益金を市に寄付

春日高等学校文化祭「春日祭」

5月29～30日、同校で第39回文化祭「春日祭」が開催されました。

今年は「共咲^{きょうしょう}」をテーマに開催。各部活のステージ発表や2・3年生のクラス企画、全校合作の展示など多彩な催しが会場を彩りました。2日目の一般公開日には1年生の合唱コンクールが行われ、続く全体合唱では会場全体が一体感に包まれました。2日間に渡る開催で約3,000人が来場。笑顔と感動に包まれる催しとなりました。

同祭終了後の6月24日、同祭実行委員の生徒3人が市役所を訪れ、同祭で得られた収益金を市に寄付しました。これは、「教育支援に役立ててほしい」という生徒たちの発案で実現。高田副市長はその思いと行動に感謝を伝えました。

実行委員長^{ふじい}の藤井 碧^{あおい}さんは「みんなの楽しそうな顔が見れてよかった」と振り返り、同祭の成功と地域貢献への充実感を語りました。



▲吹奏楽部・演劇部・書道部・ダンス部・箏曲部・放送部による合同パフォーマンス



▲左から今井^{いまい}さん、太田^{おおた}さん、藤井さん、高田副市長



ライジングゼファーフクオカが指導

天神山小学校で人権・スポーツ教室

6月5日、プロバスケットボールチーム「ライジングゼファーフクオカ」の松本 涼まつもと りょうコーチと村上駿斗むらかみ しゅんと選手を招き、天神山小学校で人権・スポーツ教室が開催されました。

同チームは、地域との交流、貢献を目的としたホームタウン活動に取り組んでおり、その一環として、同校の5年生を対象に開催されたものです。

初めに、市の人権擁護委員が人権意識を養うための講義を実施。「スポーツをすることは誰にでも与えられている権利の一つ。一人一人が安心してスポーツを楽しむには、何が大切か考えましょう」と児童に呼び掛けました。

講義後は、松本コーチと村上選手の指導の下、ゲーム形式でドリブルやシュートの練習、試合を楽しみました。

両者からは、「自分がプレーをしていない時も仲間を応援をする気持ちが大切です。自分がされてうれしいことを相手にもしましょう」と、他者への思いやりの心を育むよう、メッセージが送られました。



▲人権擁護委員による講義



▲シュートのお手本を見せる村上選手

華々しくグランドオープン

西鉄春日原駅直結商業施設「レイリア春日原」



▲門出を祝うテープカット

6月11日、同施設が、2月の先行オープンに続いて、グランドオープンしました。

当日は、西日本鉄道(株)が記念式典を開催。事業関係者などが出席し、施設の門出を祝いました。

式典終了後、新たに3店舗が営業を開始。営業店舗は全10店舗となりました。

施設の全面開業により、同駅周辺の利便性の向上、地域の活性化・発展が期待されます。

各選手が練習の成果を発揮

第55回春日市水泳大会



▲リオ五輪銀メダリストの力強い泳ぎ

6月7日、総合スポーツセンター温水プールで水泳の普及促進のため同大会が開催されました。

リオデジャネイロオリンピック銀メダリストの坂井 聖人さかい まさとさんのデモンストレーション後、個人種目やリレーなど60種目を実施。6～79歳までの約100人が出場し、熱いレースを展開しました。

同大会の結果で選考された選手は、8月23日に福岡市で行われる県民スポーツ大会に出場します。

★表紙関連

いざというときに備えて

春日市総合防災訓練



▲避難所開設・運営の訓練

6月14日、市内で震度6強の地震が発生した想定の下、春日中学校で同訓練を実施しました。

消防、警察、自衛隊、自治会などの関係機関や来場者を合わせて700人以上が参加。災害対策本部運営や避難所開設・運営などの訓練の他、はしご車体験搭乗、車両展示などの防災イベントも行われ、日ごろからの災害への備えを再確認する機会となりました。

市・大塚製薬(株)包括連携事業

子どもの健康セミナーを開催



▲ジュニア期に必要な栄養素を学ぶ

6月13日、総合スポーツセンターで親子向け講座「学ぼう!子どもの健康!」を開催。約60人が参加しました。

第1部ではジュニア期に必要な栄養素や食への関心を高める食育アプリを紹介。第2部では視力が学力に与える影響を学んだ後、視力低下を防ぐ体操を体験しました。10分に3秒は遠くを見る習慣など、日常の中で実践する方法を学びました。

第44回交通事故防止コンクール

(株)グリーン春日が金賞を受賞



▲同社の皆さんと高田副市長(中央)

6月29日、同社の社員4人が高田副市長を訪問。福岡市で開催された同コンクールで最優秀事業所として表彰されたことを報告しました。

これは、ボランティア活動や交通安全対策の功績が認められたことによるものです。

同社の藤原健二代表取締役は「日々の業務を事故無く行うのはもちろん、地域の交通安全活動にも力を入れて頑張っています」と話しました。

暴力団追放と安全安心なまちづくりの推進

第21回地域安全市民のつどい・暴力追放決起大会



▲春日警察署とWing-1.DANCE STUDIOによるミュージカル

6月28日、ふれあい文化センターで同大会が行われ、関係者など400人以上が参加しました。

防犯や交通安全がテーマのミュージカルや、暴力団と闇バイトの関係についての講話が行われました。

大会の最後は、暴力追放宣言や会場全体でシュプレヒコールを行い、暴力団追放と安全安心なまちづくりの推進に向けて一致団結しました。